

# 森(もり)・盛(もり)・オホーツク



No. 8 平成27年10月16日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

## 常呂小学校で森林教室 自然のしくみをまなぶ



9月9日(水)、常呂小学校5年生26名を対象に森林教室(常呂川FC、講師2名)を行いました。

これは、6月に行ったボランティア育樹(枝払い作業)及び屋外授業(講師:東部森林室、悪天候のため屋内でクラフト作成等)と合わせて、森林・林業、自然の「まとめ」として行われたものです。

最初に「食物連鎖のピラミッド作り」を行

い、食べられるもの(生産者)、食べるもの(消費者)のバランスが崩れるとピラミッドはうまくできないことから自然界のしくみを学びました。

次に、事前に寄せられた質問への回答を中心に森林のなりたち、樹木のしくみ(光合成)、キノコなどの話をした後、「『木』が入っている漢字



「学校にある木で

できているもの」をいくつか出すことができるか?を班対抗クイズ形式で行い、森林と人間の関わり、森林の大切さを学びました。

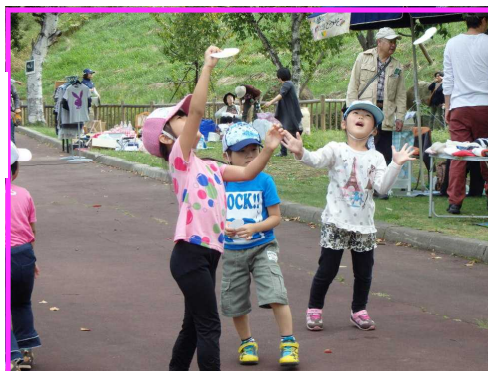
内容を詰め込みすぎたのか、欲張りすぎたのか、最後は時間に追われるように終了となりましたが、子どもたちの授業の一助になれば幸いです。



## オホーツク森林フェスティバル

# タネ飛ばし

大人気



9月12～13日（土・日）、網走市こまば木のひろばでオホーツク森林フェスティバルが「オホーツクみどりネットワーク」の主催で行われました。

常呂川FCはオホーツクの会と一緒にパネル展示、タネ飛ばし、丸太切り体験、クラフト作成などを行いました。

初日は、近くの保育所の園児が大挙して押し寄せ、タネ飛ばし（アルソミトラマクロカルパ）が大人気でした。

2日目は、小雨模様に加えて他のイベントとの重なりもあり、集客はいま一步で…PR方法、開催場所の工夫も必要かな～。



## イタチハギ駆除 根絶めざして…

9月17日（木）、網走国定公園の一部となっているワッカ原生花園で北見市（常呂総合支所）、北見林業土木協会、北林会、網走中部森林管理署など51名の参加により、外来種であるイタチハギの駆除活動（根際からの切り取り）が行われました。

イタチハギは、荒地の緑化などの目的で移入・活用されてきたものですが、景観を損なうとともに自生する植物にも悪影響を与えることからタネを落とす前のこの時期に行っているものですが、タネだけでなく、根茎からの発芽、根萌芽など、繁殖力が強く放置すると一面がイタチハギで覆われてしまいます。

国定公園であることから、根を抜くことや薬剤による駆除も難しく、効果的な駆除方法を検討するとともに根気よく続けていく必要があります。

## 藻琴山登山をサポート

9月26日（土）、オホーツク森の案内友の会の要請を受けて、藻琴山（標高1000m）登山&自然観察会のガイド（常呂川FC：2名）を行いました。

当日は2班に分かれ、銀嶺荘～藻琴山～小清水高原というルートを通りながら植生の変化や景色を楽しみました。

頂上付近は霧に覆われて真っ白でしたが、途中の尾根からは屈斜路湖を見ることができ、登山の疲れを癒やしてくれました。

